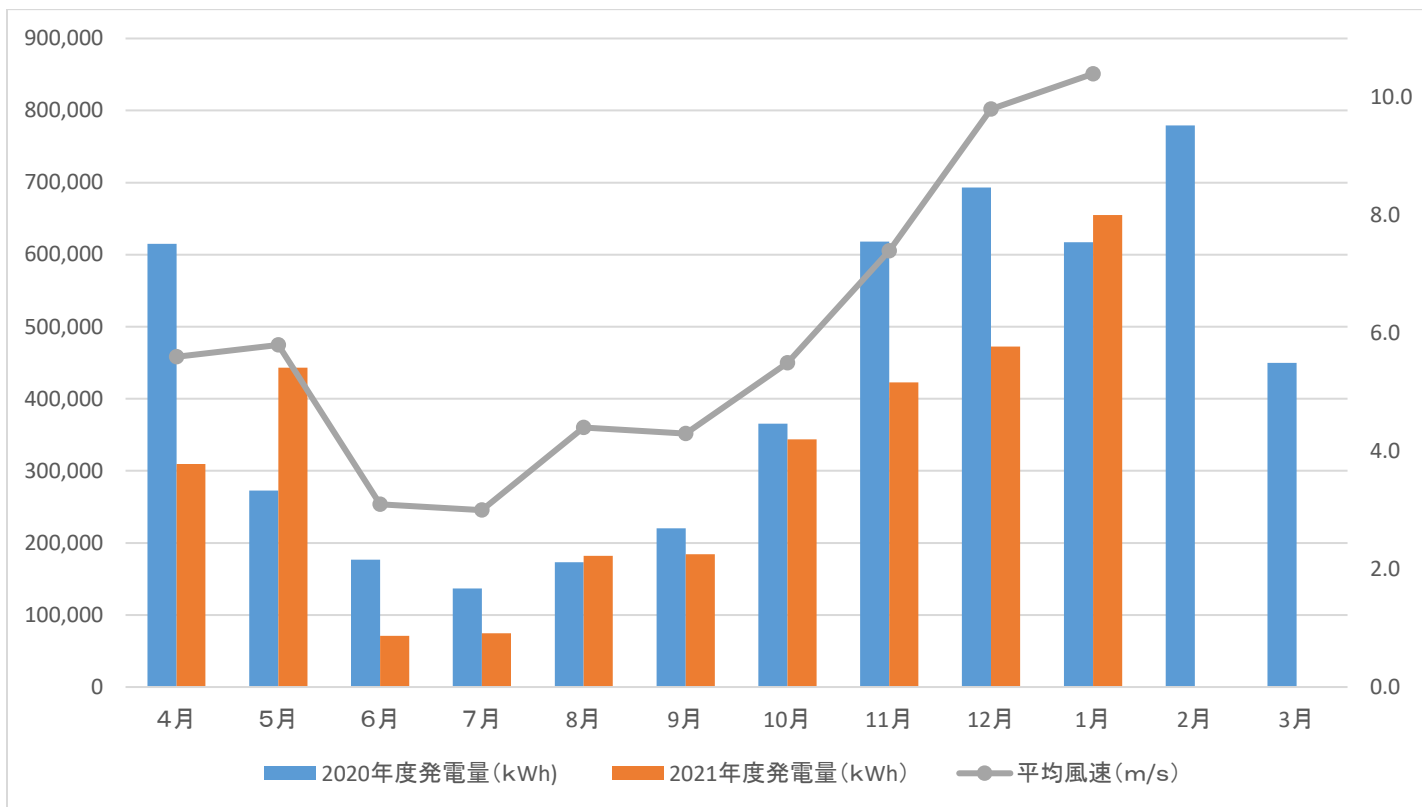


秋田県にかほ市に生活クラブ東京・神奈川・埼玉・千葉が建設した生活クラブ風車「夢風」に関するニュースをお届けします。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-6-9 大内ビル3F 一般社団法人グリーンファンド秋田

発行責任者 半澤彰浩(代表理事) 編集責任者 鈴木伸予

○ 2021 年度発電実績



1月度運転状況について

- 風況は前年に比べ0.9m/s 高くなりました。
- 1月も増速機軸受け損傷の進行を抑えるため、強風時に保安停止を行い、稼働率は82.5%と低くなりました。
- 発電量は前年比106.1%と前年より高くなりました。これは、前年も増速機損傷の疑いの為2021年1/29より保安停止を実施しており稼働率が低かった事が要因です。

にかほ市では、旬の「鱈」をテーマにした食のイベント「んだっ鱈、にかほ市へ！」を企画が毎年1～2月に開催されています。

鱈は体長1m・重さ20kg以上もあり、冷たい深海に生息する大魚で、「たらふく食べる」の語源になっています。その身はもちろん、骨もザッパ汁（あら汁）として調理でき、特に寒の時期、白子（精巣、にかほ市内ではダダミといいます）鱈子（鱈の卵）は生で食べることができる珍味として扱われています。

	発電量 (kWh)	平均風速 (m/s)	稼働率 (%)
4月	309,276	5.6	92.4
5月	443,029	5.8	98.0
6月	71,255	3.1	99.0
7月	74,604	3.0	90.4
8月	182,051	4.4	62.5
9月	184,228	4.3	96.4
10月	343,577	5.5	97.1
11月	422,644	7.4	85.7
12月	472,533	9.8	74.5
1月	655,022	10.2	82.5
2月			
3月			

グリーンファンド秋田理事会報告

2022年2月10日、第4回グリーンファンド秋田理事会をオンラインで開催しました。

主な議案は、第3四半期決算報告の承認、グリーンファンド秋田2021年度事業活動報告と2022年度方針案、生活クラブエネルギー事業連合への参加方針案、増速機損傷進展の疑い報告と対応、タワーラベル張替えの実施等です。

第3四半期の売上収入は計画比86%の実績となりました。今年度前半は風況が弱かったことと、11、12月に増速機軸受けの損傷の進行を抑えるために保安停止を行ったことが要因です。売上原価、販売管理費は計画を下回りました。経常剰余は計画比117%の実績です。

来年度設立が予定されている生活クラブエネルギー事業連合へ、グリーンファンド秋田が参加することを承認しました。エネルギー事業連合の総会で正式決定されます。

増速機損傷進展の疑いのレポートを受け、現地での点検を実施し、慎重に運転稼働させることを確認しました。増速機の交換工事は、コロナの影響で製造と海運が遅れており、3月末～4月に実施の予定です。

夢風は、2012年の建設より10年が経ち、風車のタワーラベルが劣化で薄くなってしまったことから、5月に張替えを実施します。

にかほとのオンライン交流会開催報告



右:桜井副理事長、左:半澤専務理事



(株)飛良泉本舗 齋藤雅人社長

首都圏4単協リージョナル自然エネルギー推進PJの主催で、2022年2月18日14:00～16:00、デポーにかほフェアに向けた、にかほ市の夢風ブランド生産者とのオンライン交流会を開催しました。

生活クラブ神奈川副理事長の桜井薫さんに司会進行を頂きました。

始めに、生活クラブ神奈川専務理事の半澤彰浩さんより「生活クラブ風車「夢風」を契機とした地域間連携の取り組み～地域と共生するにかほ風力発電事業」というテーマで学習を行いました。

つづいて、夢風ブランド品の生産者より、会社概要と商品の特徴や思いなどについてお話を頂きました。

まず、純米大吟醸・夢風の生産者である(株)飛良泉本舗代表取締役の齋藤雅人さんから、写真を共有しながら、にかほ市の紹介と飛良泉の歴史、伝統ある蔵の様子や酒づくりの様子をお話し頂きました。夢風酒は純米大吟醸1801という、18号酵母を使っていて、とてもきれいな香りのするお酒です。1801は、1801年に鳥海山が噴火した年でもありますので縁があると思います。夢風酒はとても香りが豊で、これまで日本酒が苦手な方にも飲みやすいお酒になっています。是非、お試しください。

つづいて、タラーメンの生産者である伊藤製麺所代表の伊藤実さんよりお話を頂きました。タラーメンのスープのリニューアルのきっかけもデポーにかほフェアだったので、今年も来所できずに大変残念に思っています。麺はあっさりスープに合う断面が長方形でもちもち感のあるストレート麺。使用する水は軟水で麺にコシとつやを出します。パッケージは手書きで、中心に鱈と上に鳥海山、下に日本海をイメージしています。夢風ブランドは組合員とにかほの生産者を結ぶ大切なものです。タラーメンの開発は東京単協と行ないましたが、4単協の組合員と作ってきたと思っています。夢風ブランド品をよろしく願います。



つづいて、鱈しょつつるの生産者である日南工業㈱の代表取締役前田和雄さんと営業の野崎哲夫さんよりお話を頂きました。デポーにかほフェアで取り組む秋田味噌は大豆の味を大事にし、米麴をたっぷり使った香り高い味噌です。鱈しょつつるは、他の魚醬と比べてもグルタミン酸が高く、アンモニアが少なく、うまみ成分の高い、臭みの少ない魚醬となっています。昨年12月に千葉単協の組合員と学習会をした時に鱈しょつつるのレシピを提供してほしいとの声を頂きました。弊社

の関連会社がしょつつるレシピ集を作ったので、組合員の皆さんにお送りします。これをもとにさらにアレンジをしていただき、こんなにおいしい料理ができたなどフィードバックいただければ嬉しいです。よろしく願います。

最後に、はたはたおいる漬けの生産者である(有)三浦米太郎商店の代表の奥様の三浦美代子さんよりお話を頂きました。はたはたおいる漬けは、米沢製油の菜種油とヴィボンのオリーブオイルを使用し、添加物や余計なものは全く入れていません。弊社は戦前からのはたはた寿司を製造してきましたが年々売上げが下がっており、若い方に別の形ではたはたを提供するために常温品を開発しました。はたはたは秋田県では欠かせない魚ですが、県外ではほとんど知られてないので、はたはたの魅力をお届けできればと思います。本日は、三浦代表のピンチヒッターを務めさせて頂きました。つたない話でしたが、ありがとうございました。



つづいて、各単協より夢風ブランド品に関する活動報告を受け、最後に生産者との質疑が行われました。

オンライン交流会には、約60名の参加があり、特におおぜいのデポーワーカーズの方に参加いただきました。参加者からの感想からも「初めてお話を聞く生産者もいてにかほが身近に感じられました」「生産者のお顔、地域の様子がわかってよかったです」「皆さんがおっしゃっていましたが、一日も早く直接会って話せるようになってほしいですね。でもリモートでもこうして継続して交流していくことが大切だと感じます」「今日の情報をデポーでのアピールにつなげたいです」など、デポーにかほフェアに活かすことができました。

夢風ブランド品とにかほの特産品の共同購入

2022年2月2日(日) 生活クラブ生活協同組合 東京

夢風ブランド

風車のまちとにかほ市の
宝蔵品とつづいた

生活クラブはふるさと産品の産地をまわし、2012年、秋田県にかほ市生活クラブ専業農産物生産者協議会と提携し、そのまわりのにかほ市産品を共同購入しています。秋田県生活クラブの共同購入でできた「夢風ブランド」は、にかほの特産品を共同購入しています。この機会にぜひお試しください。にかほ産

**はたはたおいる漬けで
いつもの料理を
ワンランクアップ!**

はたはたおいる漬けのオープンオムレツ
115444
はたはたおいる漬け
619

はたはたおいる漬けのオイルオムレツ
115428
クリームソース
345

はたはたおいる漬けのオムレツ
115433
はたはたおいる漬け
940

はたはたおいる漬けのオムレツ
115410
はたはたおいる漬け
1,850

生活クラブ生活協同組合 東京

2022年2月2日(日) 生活クラブ生活協同組合 東京

秋田県の特産品紹介

秋田産の米と味噌、大豆で煮りました
秋田産の米と味噌、大豆で煮りました
680

フレッシュなりんごのおいしいそのままジュースに
りんごジュース
1,150

秋田産の米と味噌、大豆で煮りました
秋田産の米と味噌、大豆で煮りました
680

フレッシュなりんごのおいしいそのままジュースに
りんごジュース
1,150

秋田産の米と味噌、大豆で煮りました
秋田産の米と味噌、大豆で煮りました
680

フレッシュなりんごのおいしいそのままジュースに
りんごジュース
1,150

生活クラブ生活協同組合 東京

生活クラブ東京、神奈川、埼玉、千葉の班個配で、2022年2月2回、3回企画で、夢風ブランド品とにかほの特産品の共同購入を行いました。

夢風ブランドでは、三浦米太郎商店の「はたはたおいる漬け」をレシピ付きで特集し、好評でした。特産品は、四つ葉ネットワークの「無添加甘酒」、日南工業株の「秋田味噌こし」、(株)秋田ニューバイオファ

ームの「きりたんぼ」と「めんこいなりんごジュース 10 個」です。「きりたんぼ」は、風車「夢風」の建つにかほ市芹田地区の芹田営農組合で生産された「ひとめぼれ」を原料米に使用したオリジナル品です。2月に芹田自治会の皆様にも「きりたんぼ」を世帯数分の70個お送りしました。

にかほ市自然エネルギーによるまちづくり基金

2018年度に、にかほ市では「にかほ市自然エネルギーによるまちづくり基金」を制定し、にかほ市にある風力発電事業者から基金を募り、そのお金を地域のまちづくりに活用しています。生活クラブ風車「夢風」も、前年の発電量kWh×0.5円を毎年拠出しており、2021年度の拠出額は244万2千円を予定します。

基金の用途については、にかほ市と生活クラブとの連携推進協議会で共有しています。2021年度は、花いっぱい運動事業として国道花壇や自治会への花の配布、教育環境整備事業として中学校の生徒用の机・椅子の購入を行いました。

また、新たに地産地消食育事業として地元の特産品を使った学校給食を提供するための食材費補助に活用しています。今年度は、1月～2月に「由利牛」が市内の全学校（小学校：象潟小学校、金浦小学校、平沢小学校、院内小学校、中学校：象潟中学校、金浦中学校、仁賀保中学校）の給食で提供されました。「由利牛」は、鳥海山麓に広がる高原で良質な水・牧草により飼育された黒毛和牛で、秋田のブランド牛です。

にかほ市まちづくり推進課連携推進班班長の山本正樹さんからは「健康管理が重要な時期にこういった給食を食べることが出来るのはとても幸せなことだと思います。児童生徒の皆さんが、地場産物への関心を高めるいい機会になりました。」と伺いました。

